

アラセプリル錠 12.5mg 「日新」
アラセプリル錠 25mg 「日新」
アラセプリル錠 50mg 「日新」

【この薬は？】

販売名	アラセプリル錠 12.5mg 「日新」 Alacepril Tablets 12.5mg “NISSIN”	アラセプリル錠 25mg 「日新」 Alacepril Tablets 25mg “NISSIN”	アラセプリル錠 50mg 「日新」 Alacepril Tablets 50mg “NISSIN”
一般名	アラセプリル Alacepril		
含有量 (1錠中)	12.5 mg	25 mg	50 mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシン変換酵素阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・アンジオテンシン変換酵素（ACE）の働きを阻害することで、血管を収縮する作用のある体内の物質（アンジオテンシンⅡ）の生成を抑え、血圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

本態性高血圧症、腎性高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にアラセプリル錠「日新」に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物（エンレスト）を使用中又は使用中止から36時間以内の人
- ・過去に血管浮腫になったことのある人
- ・デキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコール又はポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器によるアフェレーシス^{※1}を受けている人
- ・アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜（AN69[®]）を用いた血液透析^{※2}を受けている人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・アリスキレン（ラジレス）を使用している糖尿病の人（ただし、その他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）

※1 アフェレーシス：患者さんの血液中から不必要な成分を取り除いて、浄化した血液を再び患者さんに戻す方法

※2 血液透析：患者さんの血液を体外へ送り出し、人工腎臓（透析装置）で血液中にたまった老廃物を取り除き、水や電解質のバランスを整え、きれいになった血液を再び患者さんに戻す方法

○次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・腎動脈狭窄のある人
- ・高カリウム血症の人
- ・腎臓に重篤な障害がある人
- ・高齢の人

○この薬には次のような併用してはいけない治療法があります。アフェレーシスや血液透析を受ける場合は、必ず医師に相談してください。

- ・デキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器によるアフェレーシス
- ・アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜（AN69[®]）を用いた血液透析

○この薬には併用してはいけない薬 [サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物（エンレスト）] や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状や腎機能などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	アラセプリル錠 12.5mg「日新」	アラセプリル錠 25mg「日新」	アラセプリル錠 50mg「日新」
1日量	25～75mg（症状により100mgまで増量されることがあります。）		
飲む回数	1日1～2回		

・腎臓に障害がある人は、1日1回少量から飲み始めることがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人は高カリウム血症をおこすおそれがあるため、これらの人では必要に応じて血液検査がおこなわれます。
- ・この薬の飲み始めに一時的に急激な血圧の低下（脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、気を失う）があらわれることがあるため、そのような場合には、医師に連絡してください。特に、次の人は十分注意してください。
 - ・重い高血圧症の人
 - ・血液透析中の人
 - ・利尿降圧剤を使用している人（特に最近使用を開始した人）
 - ・嚴重な減塩療法中の人
- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるため、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいないことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
- ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- ・授乳中の人には、授乳を中止してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

（国立成育医療研究センター）電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬

を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
天疱瘡様症状 てんぽうそうようしょうじょう	全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ（水疱）やびらんが多発する
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐、下痢、お腹が張る

同類薬（カプトプリル、エナラプリル）であらわれる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあらわれる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。




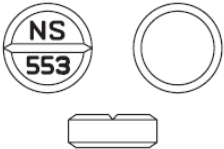
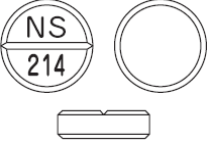
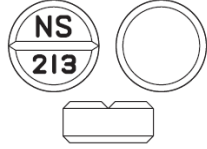
重大な副作用	主な自覚症状
汎血球減少 はんけっきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	突然の高熱、寒気、体のしびれ、体に力が入らない、出血しやすい、発熱、寒気、むくみ、体がだるい、体重が減る
頭部	めまい
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、鼻血
耳	耳鳴り
口や喉	喉がつまる感じ、声が出にくい、喉の痛み、吐き気、嘔吐、歯ぐきの出血、喉が渇く
胸部	息苦しい、息切れ、動悸
腹部	お腹が張る、強い腹痛

部位	自覚症状
背中	背中痛み
皮膚	全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ（水疱）やびらんが多発する、あおあざができる、皮膚が黄色くなる
便	下痢、油っぽい下痢が出る
尿	尿量が減る、尿量が増える

【この薬の形は？】

販売名	アラセプリル錠 12.5mg「日新」	アラセプリル錠 25mg「日新」	アラセプリル錠 50mg「日新」
PTP シート			
形状	片面割線入り素錠 	素錠 	素錠 
直径	6.0mm	7.0mm	8.0mm
厚さ	2.2mm	2.1mm	3.6mm
重さ	80mg	100mg	200mg
色	白色		
識別 コード	NS 553	NS 214	NS 213

【この薬に含まれているのは？】

販売名	アラセプリル錠 12.5mg「日新」	アラセプリル錠 25mg「日新」	アラセプリル錠 50mg「日新」
有効成分	アラセプリル		
添加物	結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ショ糖脂肪酸エステル、ステアリン酸マグネシウム	乳糖水和物、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日新製薬株式会社 (<https://www.yg-nissin.co.jp/>)

安全管理部

電話番号：023-655-2131

E-mail：d-info@yg-nissin.co.jp